

注3

大学番号：036

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

埼玉学園大学 人間学部 心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人峯徳学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課

職名・氏名 キョウムカチョウ トミザワ ユウタ
教務課長 富沢 雄太

電話番号 048-294-1110

（夜間） 048-294-1110

F A X 048-294-0294

e-mail kyomu@saigaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間学部

<心理学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 峯徳学園

(2) 大学名

埼玉学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒333-0831

埼玉県川口市木曾呂1510番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミナト スム) 峯岸 進 (昭和47年4月1日)		
学長	(ミナト スム) 峯岸 進 (平成13年4月1日)		
学部長	(コダマ マサヒロ) 小玉 正博 (平成25年4月1日)		
学科長等	(オヤマ ノゾミ) 小山 望 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	100人 (-) [-]	- []	100人 (-) [-]	- []	100人 (-) [-]	- []	0.84倍	- 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	144 (-) [-]	- []	165 (-) [-]	- []	324 (-) [-]	- []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	140 (-) [-]	- []	157 (-) [-]	- []	317 (-) [-]	- []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	110 (-) [-]	- []	141 (-) [-]	- []	188 (-) [-]	- []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	65 (-) [-]	- []	81 (-) [-]	- []	106 (-) [-]	- []			
入学定員超過率 B/A					0.65		0.81		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	65 [-] (-)	- [-] (-)	81 [-] (-)	- [-] (-)	106 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	63 [-] (-)	- [-] (-)	72 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	56 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/				/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計			[] ()	[] ()			[-] (-)	[-] (-)	65	144	234

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	65 人	2 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	2 人	- 人	学生個人の心身に関する事情(1人) [除籍(1人)]
平成30年度	144 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	0 人	- 人	
			平成30年度	0 人	- 人	
令和元年度	234 人	9 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	3 人	0 人	学生個人の進路に関する事情(2人) [除籍(1人)]
			平成30年度	6 人	0 人	学生個人の進路に関する事情(4人) 学生個人の経済に関する事情(1人) [除籍(1人)]
			令和元年度	0 人	0 人	
合計		11 人		11 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{65} = \boxed{3.07} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{144} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{234} = \boxed{3.84} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	単位数	専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	
	日本文学入門	2							2
	英語圏文学入門	2							1
	日本史学入門	2							2
	西洋史学入門	2							1
	言語学	2							1
	宗教学	2							1
	哲学	2							1
	倫理学	2							1
	生命の倫理	2							1
	美術史	2							1
	日本語の運用	2							2
	文章作成法	2							3
	政治学	2							1
	法学入門	2							1
	憲法(日本国憲法)	2							1
	民法	2							1
	ジェンダー学	2							1
	社会学Ⅰ	2							1
	社会学Ⅱ	2							1
	経済学入門	2							1
	国際関係論	2							1
	環境学	2							1
	科学史	2							1
	統計学Ⅰ	2							1
	統計学Ⅱ	2							1
	数学(線形代数基礎)	2							1
	数学(解析基礎)	2							1
	情報科学史	2							1
全学共通科目	情報機器の操作	2							3
	情報処理(文書の作成と表現)	2							2
	情報処理(表計算)	2							1
	情報処理(データベース)	2							1
	インターンシップⅠ	2							3
	インターンシップⅡ	2							3
	健康科学Ⅰ(理論・実技)	1							2
	健康科学Ⅱ(理論・実技)	1							2
	教養演習Ⅰ	2							2
	教養演習Ⅱ	2							2
	英語Ⅰ	1							3
	英語Ⅱ	1							3
	英語(見て聴く英語)	1							1
	英語(読む英語)	1							1
	英会話Ⅰ(初級)	1							2
	英会話Ⅱ(中級)	1							2
	中国語Ⅰ(初級)	1							2
	中国語Ⅱ(中級)	1							2
	韓国語Ⅰ(初級)	1							1
	韓国語Ⅱ(中級)	1							1
	ドイツ語Ⅰ(初級)	1							1
	ドイツ語Ⅱ(中級)	1							1
	フランス語Ⅰ(初級)	1							1
	フランス語Ⅱ(中級)	1							1
	日本語・日本事情Ⅰ	1							1
	日本語・日本事情Ⅱ	1							1
	日本語・日本事情Ⅲ	1							1
	日本語・日本事情Ⅳ	1							1
	小計(56科目)	4	88	0	0	0	0		76

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	日本文学入門	1-2前		2									2
	英語圏文学入門	1-2前		2									1
	日本史学入門	1-2前		2									2
	西洋史学入門	1-2前		2									1
	言語学	1-2前		2									1
	宗教学	1-2-3後		2									1
	哲学	1-2-3前		2									1
	倫理学	1-2-3後		2									1
	生命の倫理	2-3後		2									1
	美術史	1-2後		2									1
	日本語の運用	1-2前		2									2
	文章作成法	1-2後		2									3
	政治学	2-3前		2									1
	法学入門	1-2前		2									1
	憲法(日本国憲法)	1-2後		2									1
	民法	2-3後		2									1
	ジェンダー学	1-2後		2									1
	社会学Ⅰ	1-2前		2									1
	社会学Ⅱ	1-2後		2									1
	経済学入門	1-2前		2									1
	国際関係論	2-3前		2									1
	環境学	2-3前		2									1
	科学史	1-2後		2									1
	統計学Ⅰ	1-2前		2									1
	統計学Ⅱ	1-2後		2									1
	数学(線形代数基礎)	1-2前		2									1
	数学(解析基礎)	1-2後		2									1
	情報科学史	2-3後		2									1
全学共通科目	情報機器の操作	1前後	2										3
	情報処理(文書の作成と表現)	1-2前		2									2
	情報処理(表計算)	1-2前		2									1
	情報処理(データベース)	2-3前		2									1
	ビジネス社会と出会うⅠ(業界研究・会社研究)	1-2-4後		2									3
	ビジネス社会と出会うⅡ(業界研究・会社研究)	1-2-4後		2									3
	キャリアデザインⅠ	1-2-4後		2									1
	キャリアデザインⅡ	1-2-4後		2									1
	インターンシップⅠ	1-2後		2									3
	インターンシップⅡ	3-4前		2									3
	健康科学Ⅰ(理論・実技)	1前		1									2
	健康科学Ⅱ(理論・実技)	1-2後		1									2
	教養演習Ⅰ	1前		2									2
	教養演習Ⅱ	1後		2									2
	英語Ⅰ	1前後	1										3
	英語Ⅱ	1前後	1										3
	英語(見て聴く英語)	2-3-4前		1									1
	英語(読む英語)	2-3-4前		1									1
	英会話Ⅰ(初級)	1-2-3-4前		1									2
	英会話Ⅱ(中級)	1-2-3-4前		1									2
	中国語Ⅰ(初級)	1-2-3-4前		1									2
	中国語Ⅱ(中級)	1-2-3-4前		1									2
	韓国語Ⅰ(初級)	1-2-3-4前		1									1
	韓国語Ⅱ(中級)	1-2-3-4前		1									1
	ドイツ語Ⅰ(初級)	1-2-3-4前		1									1
	ドイツ語Ⅱ(中級)	1-2-3-4前		1									1
	フランス語Ⅰ(初級)	1-2-3-4前		1									1
	フランス語Ⅱ(中級)	1-2-3-4前		1									1
	日本語・日本事情Ⅰ	1前		1									1
	日本語・日本事情Ⅱ	1後		1									1
	日本語・日本事情Ⅲ	1-2-3-4前		1									1
	日本語・日本事情Ⅳ	1-2-3-4前		1									1
	小計(56科目)	-	4	96	0	0	0	0					84

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	心理学概論Ⅰ	1前	2					1				
	心理学概論Ⅱ	1後	2					1				
	社会心理学概論	1後	2			1						
	臨床心理学概論	1前	2			1						
	発達心理学概論	1前	2		2	1						
	心理学研究法	1後	2					1				
	心理学実験基礎	1後	2								1	
	調査研究法	2-3前	2			1						
	心理検査法	2-3前	2					1				
	心理学統計法Ⅰ	1後	2								1	
	心理学統計法Ⅱ	2-3後	2						1			
	心理統計演習	3-4前	2								1	
	心理学実験	2前	2					1			5	
	学習心理学	2-3前	2								1	
	知覚心理学	2-3前	2								1	
	認知心理学	2-3後	2								1	
	神経生理心理学	2-3後	2								1	
	比較心理学	2-3前	2								1	
	教育心理学	2-3後	2			1						
	学校心理学	2-3前	2			1						
	乳幼児心理学	2-3前	2					1				
	児童青年心理学	2-3後	2			1						
	高齢者心理学	2-3後	2								1	
	産業心理学	3前	2			1						
	組織心理学	3後	2			1						
学科専門科目	コミュニケーション心理学	2-3前	2								1	
	人間関係学	2前	2			1						
	欲求・行動心理学	2-3後	2			1						
	キャリア心理学	2前	2								1	
	環境心理学	3後	2								1	
	交通心理学	2-3後	2			1						
	メディア心理学	3-4前	2								1	
	家族心理学	2-3前	2								1	
	パーソナリティ心理学	2-3前	2								1	
	障害児(者)心理学	2-3後	2			1						
	カウンセリング心理学	2-3前	2			1						
	健康心理学	2-3前	2			1						
	犯罪心理学	2-3前	2								1	
	学校臨床心理学	3-4後	2			1						
	心理療法論	2-3後	2					1				
	コミュニティ心理学	3-4前	2								1	
	認知行動療法	3-4後	2			1						
	精神医学概論	3-4前	2								1	
心理実践職能論	2-3後	2			1							
基礎演習Ⅰ	1通	2		5	2	1						
基礎演習Ⅱ	2通	2		5	2	1						
専門演習	3通	4		5	2	1						
卒業論文又は卒業研究	4通	4		5	2	1						
小計(○科目)	-	18	82	0	36	13	9					23
合計(○科目)	-	22	170	0	36	13	9					99
卒業要件及び履修方法												
必修科目22単位、全学共通科目(外国語科目以外)から32単位、全学共通科目(外国語科目)から4単位、学科専門科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限: 40単位(年間))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	心理学概論Ⅰ	1前	2							1		
	心理学概論Ⅱ	1後	2							1		
	社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	1後	2			1						
	臨床心理学概論	1前	2			1						
	発達心理学概論	1前	2		2	1						
	心理学研究法	1後	2					1				
	心理学実験基礎(心理学実験)	1後	2									1
	調査研究法	2-3前	2			1						
	心理検査法(心理的アセスメント)	2-3前	2					1				
	心理学統計法Ⅰ	1後	2									1
	心理学統計法Ⅱ	2-3後	2						1			
	心理統計演習(未開講)	3-4前	2									1
	心理学実験	2前	2					1				3
	学習心理学(学習・言語心理学)	2-3前	2								1	
	知覚心理学	2-3前	2								1	
	認知心理学(知覚・認知心理学)	2-3後	2								1	
	神経生理心理学(神経・生理心理学)	2-3後	2						1			
	比較心理学	2-3前	2								1	
	教育心理学	2-3後	2			1						
	学校心理学(教育・学校心理学)	2-3前	2			1						
	乳幼児心理学	2-3前	2						1			
	児童青年心理学	2-3後	2			1						
	高齢者心理学	2-3後	2								1	
	産業心理学(産業・組織心理学)	3前	2			1						
	組織心理学(未開講)	3後	2			1						
学科専門科目	コミュニケーション心理学	2-3前	2									1
	人間関係学	2前	2			1						
	欲求・行動心理学	2-3後	2			1						
	キャリア心理学	2前	2									1
	環境心理学(未開講)	3後	2									1
	交通心理学	2-3後	2			1						
	メディア心理学(未開講)	3-4前	2									1
	家族心理学	2-3前	2									1
	パーソナリティ心理学(人格・感情心理学)	2-3前	2									1
	障害児(者)心理学(障害者・障害児心理学)	2-3後	2			1						
	カウンセリング心理学(心理学的支援法)	2-3前	2					1				
	健康心理学(健康・医療心理学)	2-3前	2			1						
	犯罪心理学(司法・犯罪心理学)	2-3前	2									1
	学校臨床心理学(未開講)	3-4後	2			1						
	心理療法論	2-3後	2					1				
	コミュニティ心理学(未開講)	3-4前	2									1
	認知行動療法(未開講)	3-4後	2			1						
	精神医学概論(精神疾患とその治療)	3-4前	2									1
心理実践職能論(公認心理師の職責)	2-3後	2			1							
福祉心理学	2-3前	2					1					
人体の構造と機能及び疾病(未開講)	3後	2									1	
関係行政論(未開講)	3-4後	2									1	
心理演習(未開講)	3前	2					1					
心理実習(未開講)	4前	2							1			
基礎演習Ⅰ	1通	2		5	2	1						
基礎演習Ⅱ	2通	2		5	2	1						
専門演習	3通	4		5	2	1						
卒業論文又は卒業研究(未開講)	4通	4		5	2	1						
小計(○科目)	-	18	92	0	38	12	12					22
合計(○科目)	-	22	188	0	38	12	12					106
卒業要件及び履修方法												
必修科目22単位、全学共通科目(外国語科目以外)から32単位、全学共通科目(外国語科目)から4単位、学科専門科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限: 40単位(年間))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	日本文学入門	1-2前	2								2
	英語圏文学入門	1-2前	2								1
	日本史学入門	1-2前	2								2
	西洋史学入門	1-2前	2								1
	言語学	1-2前	2								1
	宗教学	1-2-3後	2								1
	哲学	1-2-3前	2								1
	倫理学	1-2-3後	2								1
	生命の倫理	2-3後	2								1
	美術史	1-2後	2								1
	日本語の運用	1-2前	2								2
	文章作成法	1-2後	2								3
	政治学	2-3前	2								1
	法学入門	1-2前	2								1
	憲法(日本国憲法)	1-2後	2								1
	民法	2-3後	2								1
	ジェンダー学	1-2後	2								1
	社会学Ⅰ	1-2前	2								1
	社会学Ⅱ	1-2後	2								1
	経済学入門	1-2前	2								1
	国際関係論	2-3前	2								1
	環境学	2-3前	2								1
	科学史	1-2後	2								1
	統計学Ⅰ	1-2前	2								1
	統計学Ⅱ	1-2後	2								1
	数学(線形代数基礎)	1-2前	2								1
	数学(解析基礎)	1-2後	2								1
	情報科学史	2-3後	2								1
	情報機器の操作	1前	2								3
	情報処理(文書の作成と表現)	1-2前	2								2
	情報処理(表計算)	1-2前	2								1
	情報処理(データベース)	2-3前	2								1
	インターンシップⅠ	1-2後	2								3
	インターンシップⅡ	3-4前	2								3
	健康科学Ⅰ(理論・実技)	1前	1								2
	健康科学Ⅱ(理論・実技)	1-2後	1								2
	教養演習Ⅰ	1前	2								
	教養演習Ⅱ	1後	2								
	英語Ⅰ	1前後	1								3
	英語Ⅱ	1前後	1								3
英語(見て聴く英語)	2-3-4前	1								1	
英語(読む英語)	2-3-4前	1								1	
英会話Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								2	
英会話Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								2	
中国語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								2	
中国語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								2	
韓国語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								1	
韓国語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								1	
ドイツ語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								1	
ドイツ語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								1	
フランス語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								1	
フランス語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								1	
日本語・日本事情Ⅰ	1前	1								1	
日本語・日本事情Ⅱ	1後	1								1	
日本語・日本事情Ⅲ	1-2-4前	1								1	
日本語・日本事情Ⅳ	1-2-4前	1								1	
小計(56科目)		-	4	88	0	0	0	0		76	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	日本文学入門	1-2前	2								2
	英語圏文学入門	1-2前	2								1
	日本史学入門	1-2前	2								2
	西洋史学入門	1-2前	2								1
	言語学	1-2前	2								1
	宗教学	1-2-3後	2								1
	哲学	1-2-3前	2								1
	倫理学	1-2-3後	2								1
	生命の倫理	2-3後	2								1
	美術史	1-2後	2								1
	日本語の運用	1-2前	2								2
	文章作成法	1-2後	2								3
	政治学	2-3前	2								1
	法学入門	1-2前	2								1
	憲法(日本国憲法)	1-2後	2								1
	民法	2-3後	2								1
	ジェンダー学	1-2後	2								1
	社会学Ⅰ	1-2前	2								1
	社会学Ⅱ	1-2後	2								1
	経済学入門	1-2前	2								1
	国際関係論	2-3前	2								1
	環境学	2-3前	2								1
	科学史	1-2後	2								1
	統計学Ⅰ	1-2前	2								1
	統計学Ⅱ	1-2後	2								1
	数学(線形代数基礎)	1-2前	2								1
	数学(解析基礎)	1-2後	2								1
	情報科学史	2-3後	2								1
	情報機器の操作	1前	2								3
	情報処理(文書の作成と表現)	1-2前	2								2
	情報処理(表計算)	1-2前	2								1
	情報処理(データベース)	2-3前	2								1
	インターンシップⅠ	1-2後	2								3
	インターンシップⅡ	3-4前	2								3
	健康科学Ⅰ(理論・実技)	1前	1								2
	健康科学Ⅱ(理論・実技)	1-2後	1								2
	教養演習Ⅰ	1前	2								
	教養演習Ⅱ	1後	2								
	英語Ⅰ	1前後	1								3
	英語Ⅱ	1前後	1								3
英語(見て聴く英語)	2-3-4前	1								1	
英語(読む英語)	2-3-4前	1								1	
英会話Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								2	
英会話Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								2	
中国語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								2	
中国語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								2	
韓国語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								1	
韓国語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								1	
ドイツ語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								1	
ドイツ語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								1	
フランス語Ⅰ(初級)	1-2-4前	1								1	
フランス語Ⅱ(中級)	1-2-4前	1								1	
日本語・日本事情Ⅰ	1前	1								1	
日本語・日本事情Ⅱ	1後	1								1	
日本語・日本事情Ⅲ	1-2-4前	1								1	
日本語・日本事情Ⅳ	1-2-4前	1								1	
小計(56科目)		-	4	88	0	0	0	0		76	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	心理学概論Ⅰ	1前	2					1				
	心理学概論Ⅱ	1後	2					1				
	社会心理学概論	1後	2				1					
	臨床心理学概論	1前	2				1					
	発達心理学概論	1前	2				1					
	心理学研究法	1後	2					1				
	心理学実験基礎	1後	2								1	
	調査研究法	2・3前	2				1					
	心理検査法	2・3前	2					1				
	心理学統計法Ⅰ	1後	2								1	
	心理学統計法Ⅱ	2・3後	2					1				
	心理統計演習	3・4前	2								1	
	心理学実験	2前	2					1			5	
	学習心理学	2・3前	2								1	
	知覚心理学	2・3前	2								1	
	認知心理学	2・3後	2								1	
	神経生理心理学	2・3後	2								1	
	比較心理学	2・3前	2								1	
	教育心理学	2・3後	2				1					
	学校心理学	2・3前	2				1					
	乳幼児心理学	2・3前	2					1				
	児童青年心理学	2・3後	2				1					
	高齢者心理学	2・3後	2								1	
	産業心理学	3前	2				1					
	組織心理学	3後	2				1					
	コミュニケーション心理学	2・3前	2								1	
	人間関係学	2前	2				1					
	欲求・行動心理学	2・3後	2				1					
	キャリア心理学	2前	2								1	
	環境心理学	3後	2								1	
	交通心理学	2・3後	2				1					
	メディア心理学	3・4前	2								1	
	家族心理学	2・3前	2								1	
	パーソナリティ心理学	2・3前	2								1	
	障害児(者)心理学	2・3後	2				1					
	カウンセリング心理学	2・3前	2					1				
	健康心理学	2・3前	2				1					
	犯罪心理学	2・3前	2								1	
	学校臨床心理学	3・4後	2				1					
	心理療法論	2・3後	2					1				
	コミュニティ心理学	3・4前	2								1	
	認知行動療法	3・4後	2					1				
	精神医学概論	3・4前	2								1	
	心理実践職能論	2・3後	2				1					
	基礎演習Ⅰ	1通	2		5	2	1					
	基礎演習Ⅱ	2通	2		5	2	1					
	専門演習	3通	4		5	2	1					
	卒業論文又は卒業研究	4通	4		5	2	1					
小計(48科目)	-	18	82	0	36	13	9				23	
合計(104科目)	-	22	170	0	36	13	9				99	
卒業要件及び履修方法												
必修科目22単位、全学共通科目(外国語科目以外)から32単位、全学共通科目(外国語科目)から4単位、学科専門科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:40単位(年間))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	心理学概論Ⅰ	1前	2							1		
	心理学概論Ⅱ	1後	2							1		
	社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	1後	2				1					
	臨床心理学概論	1前	2				1					
	発達心理学概論	1前	2				1					
	心理学研究法	1後	2								1	
	心理学実験基礎(心理学実験)	1後	2									1
	調査研究法	2・3前	2				1					
	心理検査法(心理的アセスメント)	2・3前	2								1	
	心理学統計法Ⅰ	1後	2									1
	心理学統計法Ⅱ	2・3後	2								1	
	心理統計演習(未開講)	3・4前	2									1
	心理学実験	2前	2								1	3
	学習心理学(学習・言語心理学)	2・3前	2								1	1
	知覚心理学	2・3前	2								1	1
	認知心理学(知覚・認知心理学)	2・3後	2								1	1
	神経生理心理学(神経・生理心理学)	2・3後	2								1	1
	比較心理学	2・3前	2								1	1
	教育心理学	2・3後	2				1					
	学校心理学(教育・学校心理学)	2・3前	2				1					
	乳幼児心理学	2・3前	2								1	
	児童青年心理学	2・3後	2				1					
	高齢者心理学	2・3後	2								1	1
	産業心理学(産業・組織心理学)(未開講)	3前	2				1					
	組織心理学(未開講)	3後	2				1					
	コミュニケーション心理学	2・3前	2								1	
	人間関係学	2前	2				1					
	欲求・行動心理学	2・3後	2				1					
	キャリア心理学	2前	2								1	
	環境心理学(未開講)	3後	2								1	
	交通心理学	2・3後	2				1					
	メディア心理学(未開講)	3・4前	2								1	
	家族心理学	2・3前	2								1	
	パーソナリティ心理学(人格・感情心理学)	2・3前	2								1	
	障害児(者)心理学(障害者・障害児心理学)	2・3後	2				1					
	カウンセリング心理学(心理学的支援法)	2・3前	2					1				
	健康心理学(健康・医療心理学)	2・3前	2				1					
	犯罪心理学(司法・犯罪心理学)	2・3前	2								1	
	学校臨床心理学(未開講)	3・4後	2				1					
	心理療法論	2・3後	2					1				
	コミュニティ心理学(未開講)	3・4前	2								1	
	認知行動療法(未開講)	3・4後	2					1				
	精神医学概論(精神疾患とその治療)(未開講)	3・4前	2								1	
	心理実践職能論(公認心理師の職責)	2・3後	2				1					
	福祉心理学	2・3前	2					1				
	人体の構造と機能及び疾病(未開講)	3後	2									1
	関係行政論(未開講)	3・4後	2									1
	心理演習(未開講)	3前	2					1				
心理実習(未開講)	4前	2								1		
基礎演習Ⅰ	1通	2		5	2	1						
基礎演習Ⅱ	2通	2		5	2	1						
専門演習(未開講)	3通	4		5	2	1						
卒業論文又は卒業研究(未開講)	4通	4		5	2	1						
小計(53科目)	-	18	92	0	38	12	12				22	
合計(109科目)	-	22	180	0	38	12	12				98	
卒業要件及び履修方法												
必修科目22単位、全学共通科目(外国語科目以外)から32単位、全学共通科目(外国語科目)から4単位、学科専門科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:40単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし。

【平成30年度】

①公認心理師受験資格を取得可能にするため、以下の15科目の授業科目名を変更。
 ・「社会心理学概論」から「社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）」
 ・「心理学実験基礎」から「心理学実験基礎（心理学実験）」
 ・「心理検査法」から「心理検査法（心理的アセスメント）」
 ・「学習心理学」から「学習心理学（学習・言語心理学）」
 ・「認知心理学」から「認知心理学（知覚・認知心理学）」
 ・「神経生理心理学」から「神経生理心理学（神経・生理心理学）」
 ・「学校心理学」から「学校心理学（教育・学校心理学）」
 ・「産業心理学」から「産業心理学（産業・組織心理学）」
 ・「パーソナリティ心理学」から「パーソナリティ心理学（人格・感情心理学）」
 ・「障害児（者）心理学」から「障害児（者）心理学（障害者・障害児心理学）」
 ・「カウンセリング心理学」から「カウンセリング心理学（心理学的支援法）」
 ・「健康心理学」から「健康心理学（健康・医療心理学）」
 ・「犯罪心理学」から「犯罪心理学（司法・犯罪心理学）」
 ・「精神医学概論」から「精神医学概論（精神疾患とその治療）」
 ・「心理実践職能論」から「心理実践職能論（公認心理師の職責）」
 ②公認心理師受験資格を取得可能にするため、以下の5科目の新規科目を追加。
 ・「福祉心理学」
 ・「人体の構造と機能及び疾病」
 ・「関係行政論」
 ・「心理演習」
 ・「心理実習」
 ③新たに専任教員1名を補充したことにより、「心理学概論Ⅱ」及び「神経生理心理学（神経・生理心理学）」の担当教員を変更。

【令和元年度】

・大学教育におけるキャリア教育の重要性が高まっている状況を踏まえ、全学共通科目に以下の4科目を追加。
 「ビジネス社会と出会うⅠ（業界研究・会社研究）」
 「ビジネス社会と出会うⅡ（業界研究・会社研究）」
 「キャリアデザインⅠ」
 「キャリアデザインⅡ」

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	93 科目	0 科目	104 科目	11 科目 []	102 科目 [9]	0 科目 []	113 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{104} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	川口短期大学 (必要面積5,800㎡) と共用 環境、自然に係る「栽培」科目の教育活動のために、大学校庭の隣に、校舎敷地(1,810.00㎡)を増加(30)		
	校 舎 敷 地	0㎡	20,429.00㎡ 18,619.00㎡	0㎡	20,429.00㎡ 18,619.00㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	18,942.55㎡	0㎡	18,942.55㎡			
	小 計	0㎡	37,561.55㎡	0㎡	37,561.55㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	7,276.70㎡	7,276.70㎡			
	合 計	0㎡	39,371.55㎡ 37,561.55㎡	7,276.70㎡	46,648.25㎡ 44,838.25㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	川口短期大学 (必要面積5,250㎡) と共用			
	9,406.09㎡ (9,406.09㎡)	4,430.74㎡ (4,430.74㎡)	3,360.87㎡ (3,360.87㎡)	17,197.70㎡ (17,197.70㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	21室	10室	7室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成30年4月 専任教員1名を新規 採用のため(30)		
	人間学部 心理学科		9 -8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 (左記冊数等を除く) 図書94,734冊98,234冊 [8,560冊] [8,631冊] 学術雑誌6,914種 [6,914種] 視聴覚資料 1,907点1,954点 [317点] 機器・器具 2,396点
	心理学科	11,475 [786] (11,355 [821]) -(11,064 [813]) -(10,730 [769]) -(10,275 [756])	553 [536]	534 [534]	379 (445) -(408) -(375) -(359)	577	0	
	計	11,475 [786] (11,355 [821]) -(11,064 [813]) -(10,730 [769]) -(10,275 [756])	553 [536]	534 [534]	379 (445) -(408) -(375) -(359)	577 (577)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	1,200.29㎡	174席	約200,000冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,093.00㎡	テニスコート3面		200mトラック1面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
	教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	236千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	800千円	800千円	設備購入費	12,253千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,350千円	第2年次 1,080千円	第3年次 1,080千円	第4年次 1,080千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		埼玉学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人間学部	年	人	年次人	人		倍				
	4	320	3年次6	1252	-	0.84	-	平成13	埼玉県川口市木曾呂1510番地	
人間文化学科	4	80	3年次3	386	学士(文学)	0.98	-	平成13	同上	平成27年度より入学定員変更(120→140) 平成29年度より入学定員変更(140→80)
心理学科	4	100	-	300	学士(心理学)	0.84	-	平成29	同上	平成29年度より届出設置
子ども発達学科	4	140	3年次3	566	学士(人間学)	0.69	-	平成17	同上	平成27年度より入学定員変更(120→140)
経済経営学部	4	100	3年次4	448	-	0.85	-	平成25	同上	
経済経営学科	4	100	3年次4	448	学士(経済経営学)	0.85	平成27 平成29	平成25	同上	平成27年度より入学定員変更(180→140) 平成29年度より入学定員変更(140→100)
経営学研究科										
経営学専攻(M)	2	10	-	20	修士(経営学)	0.50	-	平成22年度	同上	
経営学専攻(D)	3	3	-	9	博士(経営学)	0.20	-	平成25年度	同上	
心理学研究科										
臨床心理学専攻	2	10	-	20	修士(臨床心理学)	0.54	-	平成26年度	同上	
子ども教育学研究科										
子ども教育学専攻	2	5	-	10	修士(教育学)	0.24	-	平成27年度	同上	
大学の名称		川口短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
ビジネス実務学科	2	100	-	200	短期大学士(ビジネス実務)	0.85		平成18年度	埼玉県川口市木曾呂1511番地	
こども学科	2	190	-	380	短期大学士(こども学)	0.66		平成20年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間学部 心理学科>

- (1) ① 担当教員表

<人間学部 心理学科>

- (1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	小玉 正博 (67) <平成29年4月>	健康心理学 心理実践職能論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	小山 望 (64) <平成29年4月>	臨床心理学概論 障害児(者)心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	古澤 照幸 (58) <平成29年4月>	社会心理学概論 調査研究法 産業心理学 組織心理学【隔年】 人間関係学【隔年】 欲求・行動心理学【隔年】 交通心理学【隔年】 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	藤枝 静暁 (44) <平成29年4月>	発達心理学概論 教育心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	杉山 雅宏 (53) <平成29年4月>	児童青年心理学 学校心理学 学校臨床心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	羽鳥 健司 (43) <平成29年4月>	心理学概論Ⅱ 認知行動療法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	佐々木美恵 (41) <平成29年4月>	カウンセリング心理学 心理検査法 心理療法論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	講師	藤原 健志 (31) <平成29年4月>	心理学概論Ⅰ 心理学研究法 心理学統計法Ⅱ 心理学実験 ※ 乳幼児心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	小玉 正博 (67) <平成29年4月>	健康心理学 心理実践職能論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	小山 望 (64) <平成29年4月>	臨床心理学概論 障害児(者)心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	古澤 照幸 (58) <平成29年4月>	社会心理学概論 調査研究法 産業心理学 組織心理学【隔年】 人間関係学【隔年】 欲求・行動心理学【隔年】 交通心理学【隔年】 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	藤枝 静暁 (44) <平成29年4月>	発達心理学概論 教育心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	杉山 雅宏 (53) <平成29年4月>	児童青年心理学 学校心理学 学校臨床心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	羽鳥 健司 (43) <平成29年4月>	心理学概論Ⅱ 認知行動療法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	佐々木美恵 (41) <平成29年4月>	カウンセリング心理学 心理検査法 心理療法論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	講師	藤原 健志 (31) <平成29年4月>	心理学概論Ⅰ 心理学研究法 心理学統計法Ⅱ 心理学実験 ※ 乳幼児心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	小玉 正博 (68) <平成29年4月>	健康心理学(健康・医療心理学) 心理実践職能論(公認心理師の職業) 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	小山 望 (65) <平成29年4月>	臨床心理学概論 障害児(者)心理学(障害児・障害児心理学) 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	古澤 照幸 (59) <平成29年4月>	社会心理学概論(社会・集団・家族心理学) 調査研究法 産業心理学(産業・組織心理学) 組織心理学【隔年】 人間関係学【隔年】 欲求・行動心理学【隔年】 交通心理学【隔年】 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	藤枝 静暁 (45) <平成29年4月>	発達心理学概論 教育心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	杉山 雅宏 (54) <平成29年4月>	児童青年心理学 学校心理学(教育・学校心理学) 学校臨床心理学 福祉心理学 心理演習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	羽鳥 健司 (44) <平成29年4月>	認知行動療法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	佐々木美恵 (42) <平成29年4月>	カウンセリング心理学(心理学的支援法) 心理検査法(心理学的アセスメント) 心理療法論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	講師	藤原 健志 (32) <平成29年4月>	心理学概論Ⅰ 心理学研究法 心理学統計法Ⅱ 心理学実験 ※ 乳幼児心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	講師	泉水 紀彦 (34) <平成30年4月>	心理学概論Ⅱ 神経生理心理学(神経・生理心理学) 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究

【平成31年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	小玉 正博 (69) <平成29年4月>	健康心理学(健康・医療心理学) 心理実践職能論(公認心理師の職業) 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	小山 望 (66) <平成29年4月>	臨床心理学概論 障害児(者)心理学(障害児・障害児心理学) 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	古澤 照幸 (60) <平成29年4月>	社会心理学概論(社会・集団・家族心理学) 調査研究法 産業心理学(産業・組織心理学) 組織心理学【隔年】 人間関係学【隔年】 欲求・行動心理学【隔年】 交通心理学【隔年】 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	藤枝 静暁 (46) <平成29年4月>	発達心理学概論 教育心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	教授	杉山 雅宏 (55) <平成29年4月>	児童青年心理学 学校心理学(教育・学校心理学) 学校臨床心理学 福祉心理学 心理演習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	羽鳥 健司 (45) <平成29年4月>	認知行動療法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	准教授	佐々木美恵 (43) <平成29年4月>	心理検査法(心理学的アセスメント) 心理療法論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	講師	藤原 健志 (33) <平成29年4月>	心理学概論Ⅰ 心理学研究法 心理学統計法Ⅱ 心理学実験 ※ 乳幼児心理学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究
専	講師	泉水 紀彦 (35) <平成30年4月>	心理学概論Ⅱ 神経生理心理学(神経・生理心理学) 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習 卒業研究又は卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	山部 和喜 (61) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	教授	中村 文 (63) <平成29年4月> 日本文学入門 文章作法
兼任	教授	湯浅 吉美 (59) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	福島 良一 (57) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	伊藤 栄晃 (58) <平成29年4月> 西洋史学入門
兼任	准教授	掛野 剛史 (41) <平成29年4月> 日本語の運用 文章作法
兼任	講師	杉浦 浩美 (56) <平成29年4月> ジェンダー学
兼任	教授	相馬 敬 (58) <平成29年4月> 経済学入門
兼任	教授	広瀬 明 (57) <平成29年4月> 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ
兼任	教授	豊島 雅和 (64) <平成30年4月> 情報科学史 情報処理(データベース)
兼任	教授	大塚 浩記 (49) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	准教授	日臺 健雄 (43) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	講師	柴田 仁夫 (50) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	教授	米村 泰明 (63) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	現影 秀昭 (59) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	准教授	熊田 和典 (48) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	山部 和喜 (61) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	教授	中村 文 (63) <平成29年4月> 日本文学入門 文章作法
兼任	教授	湯浅 吉美 (59) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	福島 良一 (57) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	伊藤 栄晃 (58) <平成29年4月> 西洋史学入門
兼任	准教授	掛野 剛史 (41) <平成29年4月> 日本語の運用 文章作法
兼任	講師	杉浦 浩美 (56) <平成29年4月> ジェンダー学
兼任	教授	広瀬 明 (57) <平成29年4月> 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ
兼任	教授	大塚 浩記 (49) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	講師	柴田 仁夫 (50) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	教授	米村 泰明 (63) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	現影 秀昭 (59) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	准教授	熊田 和典 (48) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	山部 和喜 (62) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	教授	中村 文 (64) <平成29年4月> 日本文学入門 文章作法
兼任	教授	湯浅 吉美 (60) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	福島 良一 (58) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	伊藤 栄晃 (59) <平成29年4月> 西洋史学入門
兼任	准教授	掛野 剛史 (42) <平成29年4月> 日本語の運用 文章作法
兼任	講師	杉浦 浩美 (57) <平成29年4月> ジェンダー学
兼任	教授	広瀬 明 (58) <平成29年4月> 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ
兼任	教授	大塚 浩記 (50) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	准教授	柴田 仁夫 (51) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	教授	米村 泰明 (64) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	教授	現影 秀昭 (60) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	准教授	熊田 和典 (49) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	山部 和喜 (63) <平成29年4月> 日本文学入門 文章作法
兼任	准教授	森田 直美 (44) <平成31年4月> 日本文学入門 文章作法
兼任	教授	湯浅 吉美 (61) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	福島 良一 (59) <平成29年4月> 日本史学入門
兼任	教授	伊藤 栄晃 (60) <平成29年4月> 西洋史学入門
兼任	准教授	掛野 剛史 (43) <平成29年4月> 日本語の運用
兼任	教授	西山 智剛 (47) <平成30年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	杉浦 浩美 (58) <平成29年4月> ジェンダー学
兼任	教授	三浦 正雄 (60) <平成31年4月> 日本語の運用 文章作法
兼任	教授	奥山 忠信 (68) <平成31年4月> 経済学入門
兼任	教授	広瀬 明 (59) <平成29年4月> 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ
兼任	教授	大塚 浩記 (51) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※ ビジネス社会と関わりⅠ(講師研習・会社研習) ※ ビジネス社会と関わりⅡ(講師研習・会社研習) ※
兼任	教授	英権 徹二 (71) <平成31年4月> ビジネス社会と関わりⅠ(講師研習・会社研習) ※ ビジネス社会と関わりⅡ(講師研習・会社研習) ※
兼任	教授	大江 清一 (66) <平成31年4月> ビジネス社会と関わりⅠ(講師研習・会社研習) ※ ビジネス社会と関わりⅡ(講師研習・会社研習) ※
兼任	准教授	柴田 仁夫 (52) <平成29年4月> インターンシップⅠ ※ インターンシップⅡ ※
兼任	教授	現影 秀昭 (61) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	准教授	熊田 和典 (50) <平成29年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	胡 志昂 (61) <平成29年4月> 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	准教授	小島 弥生 (45) <平成29年4月> 心理学実験基礎 心理学統計法Ⅰ 心理統計演習 心理学実験 ※ キャリア心理学
兼任	講師	川勝 麻里 (37) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	講師	新藤 紀子 (62) <平成29年4月> 英語圏文学入門
兼任	講師	河須崎英之 (44) <平成29年4月> 言語学
兼任	講師	田森 雅一 (58) <平成29年4月> 宗教学
兼任	講師	伊野 連 (48) <平成29年4月> 哲学 倫理学 生命の倫理
兼任	講師	佐々木あすか (38) <平成29年4月> 美術史
兼任	講師	山崎かおり (43) <平成29年4月> 日本語の運用 文章作成法
兼任	講師	伊藤 肇 (54) <平成30年4月> 政治学
兼任	講師	宮島 薫 (54) <平成29年4月> 法学入門 民法
兼任	講師	多田 庶弘 (53) <平成29年4月> 憲法(日本国憲法)
兼任	講師	中村(佐藤) 牧子 (54) <平成29年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	石塚 勝美 (53) <平成30年4月> 国際関係論
兼任	講師	小島 望 (46) <平成29年4月> 環境学
兼任	講師	菊地 重秋 (60) <平成29年4月> 科学史
兼任	講師	寺澤 信雄 (60) <平成29年4月> 数学(線形代数基礎) 数学(解析基礎)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	胡 志昂 (61) <平成29年4月> 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	准教授	小島 弥生 (45) <平成29年4月> 心理学実験基礎 心理学統計法Ⅰ 心理統計演習 心理学実験 ※ キャリア心理学
兼任	講師	川勝 麻里 (37) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	講師	新藤 紀子 (62) <平成29年4月> 英語圏文学入門
兼任	講師	河須崎英之 (44) <平成29年4月> 言語学
兼任	講師	田森 雅一 (58) <平成29年4月> 宗教学
兼任	講師	伊野 連 (48) <平成29年4月> 哲学 倫理学 生命の倫理
兼任	講師	佐々木あすか (38) <平成29年4月> 美術史
兼任	講師	山崎かおり (43) <平成29年4月> 日本語の運用 文章作成法
兼任	講師	伊藤 肇 (54) <平成30年4月> 政治学
兼任	講師	宮島 薫 (55) <平成29年4月> 法学入門 民法
兼任	講師	多田 庶弘 (53) <平成29年4月> 憲法(日本国憲法)
兼任	講師	中村(佐藤) 牧子 (54) <平成29年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	薬嶋 慎也 (33) <平成29年4月> 経済学入門
兼任	講師	石塚 勝美 (53) <平成30年4月> 国際関係論
兼任	講師	小島 望 (46) <平成29年4月> 環境学
兼任	講師	菊地 重秋 (60) <平成29年4月> 科学史
兼任	講師	寺澤 信雄 (60) <平成29年4月> 数学(線形代数基礎) 数学(解析基礎)
兼任	講師	伊藤 裕二 (54) <平成29年4月> 情報科学史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	胡 志昂 (62) <平成29年4月> 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	准教授	小島 弥生 (46) <平成29年4月> 心理学実験基礎(心理学実験) 心理学統計法Ⅰ 心理統計演習 心理学実験 ※ キャリア心理学
兼任	講師	高橋 誠 (38) <平成30年4月> 家族心理学
兼任	講師	川勝 麻里 (38) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	講師	河須崎英之 (45) <平成29年4月> 言語学
兼任	講師	志田 雅宏 (37) <平成30年4月> 宗教学
兼任	講師	伊野 連 (49) <平成29年4月> 哲学 倫理学 生命の倫理
兼任	講師	佐々木あすか (39) <平成29年4月> 美術史
兼任	講師	山崎かおり (44) <平成29年4月> 日本語の運用 文章作成法
兼任	講師	伊藤 肇 (55) <平成30年4月> 政治学
兼任	講師	宮島 薫 (56) <平成29年4月> 法学入門 民法
兼任	講師	多田 庶弘 (54) <平成29年4月> 憲法(日本国憲法)
兼任	講師	中村(佐藤) 牧子 (55) <平成29年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	伊藤 幸 (65) <平成30年4月> 経済学入門
兼任	講師	石塚 勝美 (54) <平成30年4月> 国際関係論
兼任	講師	小島 望 (47) <平成29年4月> 環境学
兼任	講師	菊地 重秋 (61) <平成29年4月> 科学史
兼任	講師	寺澤 信雄 (61) <平成29年4月> 数学(線形代数基礎) 数学(解析基礎)
兼任	講師	伊藤 裕二 (55) <平成29年4月> 情報科学史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	
兼任	准教授	小島 弥生 (47) <平成29年4月> 心理学実験基礎(心理学実験) 心理学統計法Ⅰ 心理統計演習 心理学実験 ※ キャリア心理学
兼任	講師	高橋 誠 (39) <平成30年4月> 家族心理学
兼任	講師	井島 由佳 (48) <平成31年4月> キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任	講師	富塚 亮平 (47) <平成31年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	川勝 麻里 (39) <平成29年4月> 日本文学入門
兼任	講師	河須崎英之 (46) <平成29年4月> 言語学
兼任	講師	志田 雅宏 (38) <平成30年4月> 宗教学
兼任	講師	伊野 連 (50) <平成29年4月> 哲学 倫理学 生命の倫理
兼任	講師	佐々木あすか (40) <平成29年4月> 美術史
兼任	講師	伊藤 肇 (56) <平成30年4月> 政治学
兼任	講師	宮島 薫 (57) <平成29年4月> 法学入門 民法
兼任	講師	多田 庶弘 (55) <平成29年4月> 憲法(日本国憲法)
兼任	講師	中村(佐藤) 牧子 (56) <平成29年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	教授	伊藤 幸 (66) <平成30年4月> 経済学入門
兼任	講師	石塚 勝美 (55) <平成30年4月> 国際関係論
兼任	講師	小島 望 (48) <平成29年4月> 環境学
兼任	講師	菊地 重秋 (62) <平成29年4月> 科学史
兼任	講師	寺澤 信雄 (62) <平成29年4月> 数学(線形代数基礎) 数学(解析基礎)
兼任	講師	伊藤 裕二 (56) <平成29年4月> 情報科学史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	竹上 健 (62) <平成29年4月> 情報機器の操作 情報処理(文書の作成と表現)
兼任	講師	松村真木子 (61) <平成29年4月> 情報処理(表計算)
兼任	講師	劉 博 (36) <平成29年4月> 情報機器の操作
兼任	講師	金 海峰 (37) <平成29年4月> 情報機器の操作 情報処理(文書の作成と表現) 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	落合(上村)律子 (58) <平成29年4月> 健康科学Ⅰ(理論及び実技) 健康科学Ⅱ(理論及び実技)
兼任	講師	小山内弘和 (44) <平成29年4月> 健康科学Ⅰ(理論及び実技) 健康科学Ⅱ(理論及び実技)
兼任	講師	染谷 昌弘 (56) <平成30年4月> 英語(見て聴く英語)
兼任	講師	岡崎 真美 (62) <平成30年4月> 英語(読む英語)
兼任	講師	中川 俊介 (67) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	バーマー・ヒュー (57) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	李 芝善 (45) <平成29年4月> 韓国語Ⅰ(初級) 韓国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	手嶋 直彦 (47) <平成29年4月> ドイツ語Ⅰ(初級) ドイツ語Ⅱ(中級)
兼任	講師	市橋 明典 (44) <平成29年4月> フランス語Ⅰ(初級) フランス語Ⅱ(中級)
兼任	講師	小山 令子 (65) <平成29年4月> 日本語・日本事情Ⅰ 日本語・日本事情Ⅱ 日本語・日本事情Ⅲ 日本語・日本事情Ⅳ
兼任	講師	市村 美帆 (36) <平成30年4月> 心理学実験 ※
兼任	講師	時本桶緒子 (42) <平成30年4月> 心理学実験 ※ 学習心理学 神経生理心理学 比較心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	松村真木子 (61) <平成29年4月> 情報処理(表計算)
兼任	講師	劉 博 (36) <平成29年4月> 情報機器の操作
兼任	講師	永嶋 浩 (65) <平成29年4月> 情報処理(データベース)
兼任	講師	金 海峰 (37) <平成29年4月> 情報機器の操作 情報処理(文書の作成と表現) 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	落合(上村)律子 (58) <平成29年4月> 健康科学Ⅰ(理論及び実技) 健康科学Ⅱ(理論及び実技)
兼任	講師	小山内弘和 (44) <平成29年4月> 健康科学Ⅰ(理論及び実技) 健康科学Ⅱ(理論及び実技)
兼任	講師	染谷 昌弘 (56) <平成30年4月> 英語(見て聴く英語)
兼任	講師	岡崎 真美 (62) <平成30年4月> 英語(読む英語)
兼任	講師	ｼｰﾙ小田草苗 (55) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	バーマー・ヒュー (57) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	李 芝善 (45) <平成29年4月> 韓国語Ⅰ(初級) 韓国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	手嶋 直彦 (47) <平成29年4月> ドイツ語Ⅰ(初級) ドイツ語Ⅱ(中級)
兼任	講師	市橋 明典 (44) <平成29年4月> フランス語Ⅰ(初級) フランス語Ⅱ(中級)
兼任	講師	小山 令子 (65) <平成29年4月> 日本語・日本事情Ⅰ 日本語・日本事情Ⅱ 日本語・日本事情Ⅲ 日本語・日本事情Ⅳ
兼任	講師	市村 美帆 (36) <平成30年4月> 心理学実験 ※
兼任	講師	時本桶緒子 (42) <平成30年4月> 心理学実験 ※ 学習心理学 神経生理心理学 比較心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	松村真木子 (62) <平成29年4月> 情報処理(表計算)
兼任	講師	劉 博 (37) <平成29年4月> 情報機器の操作
兼任	講師	山下 俊恵 (53) <平成30年4月> 情報処理(データベース)
兼任	講師	金 海峰 (38) <平成29年4月> 情報機器の操作 情報処理(文書の作成と表現) 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	落合(上村)律子 (59) <平成29年4月> 健康科学Ⅰ(理論及び実技) 健康科学Ⅱ(理論及び実技)
兼任	講師	小山内弘和 (45) <平成29年4月> 健康科学Ⅰ(理論及び実技) 健康科学Ⅱ(理論及び実技)
兼任	講師	染谷 昌弘 (57) <平成30年4月> 英語(見て聴く英語)
兼任	講師	岡崎 真美 (63) <平成30年4月> 英語(読む英語)
兼任	講師	ｼｰﾙ小田草苗 (56) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	バーマー・ヒュー (58) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	李 芝善 (46) <平成29年4月> 韓国語Ⅰ(初級) 韓国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	手嶋 直彦 (48) <平成29年4月> ドイツ語Ⅰ(初級) ドイツ語Ⅱ(中級)
兼任	講師	市橋 明典 (45) <平成29年4月> フランス語Ⅰ(初級) フランス語Ⅱ(中級)
兼任	講師	小山 令子 (66) <平成29年4月> 日本語・日本事情Ⅰ 日本語・日本事情Ⅱ 日本語・日本事情Ⅲ 日本語・日本事情Ⅳ
兼任	講師	時本桶緒子 (43) <平成30年4月> 心理学実験 ※ 学習心理学(学習・言語心理学) 比較心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	松村真木子 (61) <平成29年4月> 情報処理(表計算)
兼任	講師	劉 博 (38) <平成29年4月> 情報機器の操作
兼任	講師	坂本 明子 (43) <平成31年4月> 情報処理(文書の作成と表現) 情報処理(データベース)
兼任	講師	王 暉宇 (41) <平成31年4月> 中国語Ⅰ(初級) 中国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	王 岩 (47) <平成31年4月> 中国語Ⅰ(初級)
兼任	講師	染谷 昌弘 (58) <平成30年4月> 英語(見て聴く英語)
兼任	講師	岡崎 真美 (64) <平成30年4月> 英語(読む英語)
兼任	講師	ｼｰﾙ小田草苗 (57) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	バーマー・ヒュー (59) <平成29年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	李 芝善 (47) <平成29年4月> 韓国語Ⅰ(初級) 韓国語Ⅱ(中級)
兼任	講師	手嶋 直彦 (49) <平成29年4月> ドイツ語Ⅰ(初級) ドイツ語Ⅱ(中級)
兼任	講師	市橋 明典 (46) <平成29年4月> フランス語Ⅰ(初級) フランス語Ⅱ(中級)
兼任	講師	小山 令子 (67) <平成29年4月> 日本語・日本事情Ⅰ 日本語・日本事情Ⅱ 日本語・日本事情Ⅲ 日本語・日本事情Ⅳ
兼任	講師	時本桶緒子 (44) <平成30年4月> 心理学実験 ※ 学習心理学(学習・言語心理学) 比較心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	田中 道弘 (47) <平成30年4月> 心理学実験 ※ メディア心理学【隔年】
兼任	講師	五島 史子 (47) <平成30年4月> 知覚心理学 認知心理学
兼任	講師	山下 利之 (65) <平成31年4月> 環境心理学
兼任	講師	古俣 誠司 (46) <平成30年4月> 心理学実験 ※ コミュニケーション心理学 高齢者心理学【隔年】 パーソナリティ心理学
兼任	講師	花田里歌子 (41) <平成30年4月> 家族心理学
兼任	講師	古曳 牧人 (48) <平成30年4月> 犯罪心理学
兼任	講師	遠藤 公久 (59) <平成31年4月> コミュニティ心理学
兼任	講師	高橋 正雄 (64) <平成31年4月> 精神医学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	田中 道弘 (47) <平成30年4月> 心理学実験 ※ メディア心理学【隔年】
兼任	講師	五島 史子 (47) <平成30年4月> 知覚心理学 認知心理学
兼任	講師	山下 利之 (65) <平成31年4月> 環境心理学
兼任	講師	古俣 誠司 (46) <平成30年4月> 心理学実験 ※ コミュニケーション心理学 高齢者心理学【隔年】 パーソナリティ心理学
兼任	講師	花田里歌子 (41) <平成30年4月> 家族心理学
兼任	講師	古曳 牧人 (48) <平成30年4月> 犯罪心理学
兼任	講師	遠藤 公久 (59) <平成31年4月> コミュニティ心理学
兼任	講師	高橋 正雄 (64) <平成31年4月> 精神医学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	田中 道弘 (48) <平成30年4月> 心理学実験 ※ メディア心理学【隔年】
兼任	講師	五島 史子 (48) <平成30年4月> 知覚心理学 認知心理学 認知心理学 (知覚・認知心理学)
兼任	講師	山下 利之 (66) <平成31年4月> 環境心理学
兼任	講師	古俣 誠司 (47) <平成30年4月> コミュニケーション心理学 高齢者心理学【隔年】 パーソナリティ心理学 (人格・発達心理学)
兼任	講師	古曳 牧人 (49) <平成30年4月> 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学)
兼任	講師	遠藤 公久 (60) <平成31年4月> コミュニティ心理学
兼任	講師	高橋 正雄 (65) <平成31年4月> 精神医学概論 (精神疾患とその治療)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	田中 道弘 (49) <平成30年4月> 心理学実験 ※ メディア心理学【隔年】
兼任	講師	山下 利之 (67) <平成31年4月> 環境心理学 認知心理学 (知覚・認知心理学)
兼任	講師	古俣 誠司 (48) <平成30年4月> コミュニケーション心理学 高齢者心理学【隔年】 パーソナリティ心理学 (人格・発達心理学)
兼任	講師	古曳 牧人 (50) <平成30年4月> 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学)
兼任	講師	遠藤 公久 (61) <平成31年4月> コミュニティ心理学
兼任	講師	薬田 勲 (49) <平成31年4月> 精神医学概論 (精神疾患とその治療)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・相馬敦教授退職により、柴崎慎也講師に変更。
- ・豊島雅和教授退職により、伊藤裕二講師及び永嶋浩講師に変更。
- ・日臺健雄准教授退職により、大塚浩記教授及び柴田仁夫専任講師に変更。
- ・竹上健講師出講辞退により、金海峰講師に変更。
- ・中川俊介講師出講辞退により、シハ小田早苗講師に変更。

【平成30年度】

- ・杉山雅宏教授の担当科目を2科目追加。
- ・泉水紀彦専任講師就任。
- ・新藤紀子講師出講辞退により、米村泰明教授及び西山智則教授に変更。
- ・柴田仁夫講師が准教授に昇任。
- ・花田里欧子講師出講辞退により、高橋誠専任講師に変更。
- ・田森雅一講師出講辞退により、志田雅宏講師に変更。
- ・柴崎慎也講師出講辞退により、伊藤孝講師に変更。
- ・永嶋浩任期満了により、山下俊恵講師に変更。
- ・科目名称を「2 授業科目の概要」とおり変更。

【令和元年度】

- ・羽鳥健司准教授の担当科目を1科目追加。
- ・佐々木美恵准教授の担当科目を1科目削除。
- ・中村文教授出講辞退により、山部和喜教授及び森田直美教授に変更。
- ・山崎かおり講師辞退により、三浦正雄教授に変更。
- ・米村泰明教授辞退により、西山智則教授及び冨塚亮平講師に変更。
- ・箕輪徳二教授、大塚浩記教授、大江清一教授の担当科目を2科目追加。
- ・胡志昂教授辞退により、王振宇講師及び王岩講師に変更。
- ・落合(上村)律子講師及び小山内弘和講師辞退により、野瀬清喜教授に変更。
- ・井島由佳講師就任
- ・伊藤孝講師が教授に昇任。
- ・山下俊恵講師及び金海峰講師辞退により、坂本明子講師に変更。
- ・五島史子講師辞退により、山下利之講師に変更。
- ・高橋正雄講師辞退により、柴田勲講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	2	1	0	8	5	2	2	0	9
(5)	(2)	(1)	(0)	(8)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
5	2	2	0	9	5	2	2	0	9
[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{8} = \boxed{112.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
設 置 時 (平成28年7月)	・経済経営学部経済経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	経済経営学部経済経営学科の入学定員140名を100名に見直しました。今年度入学生生の定員充足率は82%となり、定員確保に努めております。(29)	履行済
設 置 時 (平成28年7月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項		履行中 人間学部心理学科の教育研究指導に支障が生じないように配慮しつつ、学年進行が終了した段階から66歳以上の教員を漸次、若手・中堅教員を育て、是正していく計画です。(29)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	○ 経済経営学部経済経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	社会のニーズに応え「スポーツ・健康科目群」、「観光ビジネス科目群」、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」の科目を新設し、それらの科目の趣旨が志願者等に浸透するように、オープンキャンパスにおける学科説明や広報等において丁寧な説明に努め、今年度の定員充足率は85%と上昇いたしました。引き続き、定員確保に努めてまいります。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	○ 人間学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	新たに公認心理師養成カリキュラムについての内容を、オープンキャンパスにおける学科説明や広報等において付け加え、丁寧な説明に努め、今年度入学生生の定員充足率は81%と前年度より改善されました。引き続き定員確保に努めてまいります。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	○ 経済経営学部経済経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	今後、定年規程に定める退職年齢を超える教員が平成33年3月末までに5人程度退職する予定のため、中堅・若手教授の補充などにより、適切に対応してまいります。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	○ 経営学研究科経営学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	今後、定年規程に定める退職年齢を超える教員が平成33年3月末までに5人程度退職する予定のため、博士後期課程の運営にふさわしい中堅・若手教授の補充などにより、適切に対応してまいります。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年3月)	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な教員組織の編制に努めること。(経済経営学部経済経営学科)	指摘事項 (改善)	定年規程に定める退職年齢を超える教員が令和3年3月末までに5人程度退職する予定のため、経済経営学科の教員組織の編制にふさわしい中堅・若手教授の補充などにより、適切に対応してまいります。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年3月)	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な教員組織の編制に努めること。(経営学研究科経営学専攻(D))	指摘事項 (改善)	定年規程に定める退職年齢を超える教員が令和3年3月末までに5人程度退職する予定のため、博士後期課程の運営にふさわしい中堅・若手教授の補充などにより、適切に対応してまいります。	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間学部 人間文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 全学的組織としてFD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 原則として毎月1回(長期休業中を除く)開催予定である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容及び教育方法の改善並びに教員の教育力向上のための基本方針策定に関すること。 ・講演会、シンポジウム及び教員の研修会等の開催に関すること。 ・学生による授業評価に関すること。 ・カリキュラムの開発に関すること。 ・共通教材等の開発に関すること。 ・その他FDの推進に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 FDに関する講習会、ピアレビュー、授業公開、学生による授業アンケート等を実施する予定である。</p> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDに関する講習会：専任及び非常勤講師に対してFD方針等を説明し、意見交換する。 ・授業に関する研修会：専任教員が受業方法の改善について、意見交換を行う。 ・研究発表会：学内の共同研究費を得た教員が、教員及び学生に対し研究成果を発表する。 ・ピアレビュー：教員が相互に授業見学を行い、感想や意見をまとめ、教員間に公表する。 ・授業公開：一定期間を設けて学生の保護者等に授業を公開し、本学の教育に対する関心と理解を深める。 ・授業アンケート：春期・秋期に各1回全授業科目でアンケートを行い、集計結果を報告書に纏めて公開する。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDに関する講習会 (平成31年4月1日(月))専任教員 42名、非常勤講師 8名 (平成31年4月8日(月)～4月12日(金))非常勤講師 34名 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 今後、結果を踏まえて改善への取り組みを検討していく予定である。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 アンケートは実施する。実施時期は春期7月8日(月)から7月26日(金)、秋期12月9日(月)から12月20日(金)に行う。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果報告書を教務課窓口、情報メディアセンターに配架し、閲覧に付す。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年4月より、新学科の設置の趣旨及び目標に沿った授業を開始しており、「自己点検評価委員会」は、心理学科の設置の趣旨及び目標に沿った授業が実施されているかについて点検評価した。所見としては、設置の目的に沿っていることを確認した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成32年度公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公表予定である。

・報告書を作成し、教務課窓口及び情報メディアセンター内において学生の閲覧可能な場所に配架する。

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に(財)日本高等教育評価機構による認証評価を受け「適合」の判定を受けた。次回の認証評価を受けるため、自己点検評価委員会準備を進めている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月1日予定 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。